

苦悩する判事、無実を叫び続ける元ボクサー。  
これは昭和41年6月30日未明、静岡県清水市で  
実際に起きた《袴田事件》を基にした元裁判官の物語である。

あなたなら、裁けますか？

BOX  
HAKAMADA CASE  
What's

仙台弁護士会  
死刑を考える映画上映会

「BOX 袴田事件 命とは」

2016年1月16日

参加費  
無料

せんだいメディアテーク  
7Fスタジオシアター

■1回目 午後1時～

■2回目 午後3時30分～

予約不要（1回の定員180名）

BOX 袴田事件 命とは

高橋伴明監督作品

萩原聖人 新井浩文 葉月里緒奈 村野武範 保阪尚希 ダンカン 須賀貴匡 中村優子 雛形あきこ

大杉漣 國村隼 志村東吾 吉村美子 岸部一徳 塩見三省 石橋凌

企画：忠敬 コ・エグゼクティブプロデューサー：中島仁 加治潤一 プロデューサー：西健二郎 林淳一郎 アソシエイトプロデューサー：大原盛雄 エグゼクティブプロデューサー：後藤正人  
脚本：夏井辰徳 高橋伴明 音楽：林祐介 撮影：林淳一郎 (J.S.C) 照明：豊見山明長 録音：福田伸 美術：丸尾知行 VFXスーパーバイザー：立石勝 記録：阿保知香子 編集：菊池純一  
監督補：小久保利己 制作担当：榎田茂樹 制作プロダクション：ブリックス 配給：スロウラーナー 製作：BOX製作プロジェクト (2010年/日本映画/35mm/1時間57分/DTSステレオ)



「俺は殺人犯と一緒にちや…俺を死刑にしてくれんね」

平成十九年、元担当裁判官熊本典道が発した告白

「袴田事件は、無罪である」

この苦悩に満ちた四〇年目の告白が、

マスコミに、世論に衝撃を与えた。

これは昭和四十一年六月三〇日未明、

静岡県清水市で起きた

〈袴田事件〉を基にした命の物語である。

『禅 ZEN』の高橋伴明監督最新作に  
日本映画のベテランスタッフが集結。  
美しい映像と骨太な世界観を持つ傑作の誕生！

『BOX 袴田事件 命とは』のメガホンをとったのは、道元禅師を描いた『禅 ZEN』(08)をはじめ、『光の雨』(01)、『愛の新世界』(94)、『TATOO<刺青>あり』(82)で知られる高橋伴明監督。監督は、「裁判員制度が始まって、まず思ったのは人を裁くことの重さということです。」「もし間違いが冤罪につながり、ひとりの人生を奪ったとしたら、それはとりかえしのつかない罪であり、科した刑以上の量刑をその人は負うべきでしょう。そんな思いを〈袴田事件〉を借りて映画にしたいのです。」と、この映画に対する熱い思いを語る。また、そんな監督のもとに撮影に林淳一郎(森淳一監督『重力ピエロ』)、黒沢清監督『ニンゲン合格』『回路』)や美術の丸尾知行(塩田明彦監督『どろろ』、黒沢清監督『CURE』)をはじめとする日本映画のベテランスタッフが集結。美しく重厚な『BOX 袴田事件 命とは』の世界を作り出している。

人を裁くことは、  
同時に自分も裁かれることではないか？  
苦悩する裁判官の姿を通して描かれる、  
人を裁くことの困難と命の尊さ。

昭和41年6月30日未明、静岡県清水市で味噌製造会社専務の自宅が放火され、一家四人が殺害された。静岡県警は、従業員で元プロボクサーの袴田巖を容疑者として逮捕。巖は、犯行を頑強に否認していたが、勾留期限3日前に一転自白。熊本典道は、主任判事として、この〈袴田事件〉の裁判を担当することになった。しかし、巖は裁判で犯行を全面否認。典道もまた長時間にわたる取り調べや、供述が二転三転することから警察の捜査に疑問を抱き始める。事件は冤罪なのか、それとも巖が真犯人なのか？ 乏しい物証。強制的疑いがある自白。しかし、警察によって犯行後1年も経つにも関わらず〈新証拠〉が提出される…。困難を極めた裁判は、結果、裁判官の合議の末1対2で死刑判決が決定。典道は巖の無罪を確信しながらも、死刑の判決文を書かなければならないこととなった。裁判官を辞職し、苦悩する典道は、巖の無罪を実証しようと動き始める…。人は人を裁くことができるのだろうか？ 人を裁くことは、同時に自分も裁かれることではないか？ 死刑確定後の現在もなお、冤罪を叫び、再審請求が続けられている〈袴田事件〉。苦悩する裁判官の姿を通し人を裁くことの困難と命の尊さを描いた傑作が誕生した。

萩原聖人、新井浩文をはじめ、  
企画に共鳴した豪華な共演陣が実現！！

苦悩する判事・熊本典道を演じるのは、『光の雨』以来の高橋伴明監督との顔合わせとなる萩原聖人。豊田利晃監督『蘇りの血』(09)、大森立嗣監督『ケンタとジュンとカヨちゃんの国』(6月公開)の新井浩文が、無罪を訴える元ボクサー・袴田巖を演じるほか、葉月里緒奈、村野武範、保阪尚希、ダンカン、須賀貴匡、中村優子、雛形あきこ、大杉漣、國村隼、志村東吾、吉村実子、岸部一徳、塩見三省、石橋凌といった豪華な共演陣が、この企画に共鳴して実現した。2009年5月21日、一般国民が審判を下す裁判員制度が導入され、『BOX 袴田事件 命とは』に描かれた熊本典道の苦悩、人が人を裁くことの重さは、同時に現実のわたしたち自身が抱える問題となった。



主催：仙台弁護士会

共催：日本弁護士連合会／東北弁護士会連合会

問い合わせ先：仙台弁護士会

仙台市青葉区一番町2丁目9-18 TEL 022-223-1001

